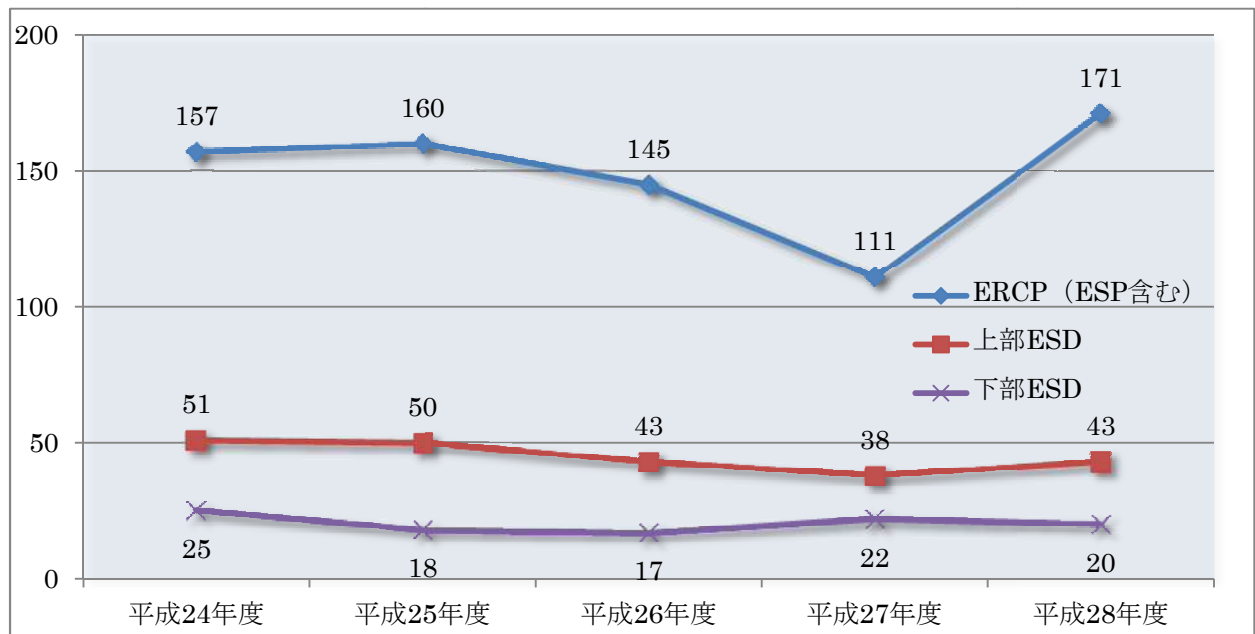




### 13 上部 ESD、下部 ESD、ERCP (EST 含む) 件数

(単位：件)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
上部 ESD	51	50	43	38	43
下部 ESD	25	18	17	22	20
ERCP (EST 含む)	157	160	145	111	171



○ ESD (Endoscopic Submucosal Dissection) : 内視鏡的粘膜下層剥離術

内視鏡的に使用可能な高周波メスを使って、粘膜下層のレベルで病変を剥がし取る手技であり、主に消化管腫瘍の治療に用いられる。

上部 ESD の対象部位：食道、胃

下部 ESD の対象部位：大腸

○ ERCP (Endoscopic Retrograde Cholangio-pancreatography) : 内視鏡的逆行性胆管膵管造影

膵臓や胆管・胆嚢の病気の診断や治療を行うための検査。

○ EST (Endoscopic sphincterotomy) : 内視鏡的乳頭括約筋切開術

胆汁が十二指腸に流れ出る出口を、内視鏡で見ながら電気メスで切り広げる治療法。